



大きな飛躍が見られた2学期でした

～たくさんの方々の支えの中で～

残暑の夏・秋・冬という三つの季節の中で学校生活を送ってきた子どもたち。2学期の終業の日を無事迎えることができました。



80日間の学校生活の中では、日々の学習はもちろんのこと、たくさんの方々の行事が行われました。秋季大運動会や遠足、修学旅行、宿泊学習等の大きな行事も実施されました。その一つ一つの行事に向かうまでには、数々の努力や苦労もあったことと思います。その一つ一つを乗り越えることで成長してきた子どもたちは、この2学期で一回りも二回りも成長したことでしょう。



その成長の裏には、保護者の方や地域の方等たくさんの支えがあったことは間違いありません。本校教育へのご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。3学期は、1年生から5年生は次の学年に向けて準備を行う学期です。6年生は、卒業に向けて、そして、中学生に向けて準備を行う学期です。2学期同様、本校教育へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。



生きて働く力

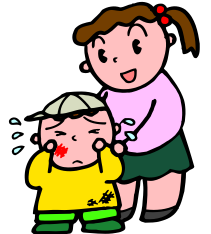
～知っている大人がいない場面で、子どもたちは～

先日、登校中に低学年の児童が「けが」をする場面がありました。多くの出血を伴うけがで、けがをした本人も周りの子どもたちもとても驚きました。とても心配しました。このような状況で、子どもたちがどのような行動をとったのでしょうか。次のような行動をしていました。

- けがをしている子どもへティッシュなどを用いて止血をする。
- 周りにいる知らない大人に知らせる。
- 「命を守るカード」をランドセルから取り出し、自宅の連絡先を調べる。
- 周りにいる知らない大人に携帯電話を借りて、119番通報をする。
- けがした子どもの自宅に連絡をする。
- 到着した救急車にけがをした子どもと乗る。
- 学校に登校し、職員室に報告に来る。

以上のような行動をしたのです。

このような行動ができた本校児童をととても誇りに思います。緊急事態が起きたときに、それぞれの子もたちで考え、それを行動に移すことができたのです。



このような場面に出会ったときに、大人でも動揺し、冷静に対応することは難しいと思います。それを行動に移すことができた子どもたち。これまでの学びが「生きて働く力」として発揮できたのです。本当に素晴らしいですね。今年度整備した「命を守るカード」。その重要性も今回実感したところです。ご家庭でも、命を守るカードを再度見直していただきますとともに、緊急時への対応の仕方など、学年に応じてお話しいただけますと幸いです。

本年度の活動の成果報告をいたしました ～第2回学校運営協議会～

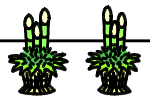
12月13日(火)に、第2回学校運営協議会を実施いたしました。「学校便り・6月28日第3号」でお伝えいたしました、「守りたい宝1・地域の文化・伝承」「守りたい宝・中庭再生」についての現状と課題、そしてこれからの取組の見通しについて協議しました。



「守りたい宝1・地域の文化・伝承」については、「篠別府地区に伝わり、都農南小学校で長年に渡り踊られてきた棒おどりの『唄』について」「南っ子太鼓の指導者について」「地域の課題解決・よさこいソーラン」についての成果を協議会委員で共有しました。協議委員の方からは、成果を賞賛していただく声が多く聞かれました。「守りたい宝2・中庭再生」については、「都農南小50周年記念誌」から当時の中庭整備の様子や現在の子どもたちの中庭に対する思いを共有しました。そして、中庭再生計画の進捗状況と現在の課題について協議しました。本協議会に参加して下さる委員の方は、都農南小学校への熱い思いをもってくださっている方ばかりです。その方々のご意見や情報提供等により、本会はとても充実した会となっております。今年度から始まった学校運営協議会。次年度へ向けて、更なる充実を図っていきたいと考えております。



主な行事予定



- 01月6日(金) 3学期の始業式
- 01月12日(木)・13日(金) 学力調査
- 01月19日(木) ふれあい読書
- 01月20日(金) 避難訓練(火災)
- 01月27日(金) 新入学予定児童保護者説明会



文責：都農南小学校 教頭 黒木賢二

